

○平成29年9月28日、旧北上川分流施設、旧北上川三川（旧北上川、江合川、迫川）の合流部で見学会を開催し、仙台二華高校一年生（66名）、教員並びに後藤光亀氏（貞山・北上・東名運河研究会 世話人）あわせ71名が参加しました。

○減災対策協議会の取組の一環である本取組を通じ、北上川の概要・水害の歴史と治水対策、減災対策への取り組みなどについて、水防災に関する啓発動画「守りきれない洪水は必ず発生する！」も交え説明し、改めて防災意識をより深めていただきました。

○参加者した学生からは、「北上川・江合川の治水の歴史、先人たちの知恵などを学び、大変勉強になった。」「近年、全国的に豪雨が多発しており、水害への防災意識を高め、日頃から災害に備えた準備や心構えがとても大切と感じた。」などの感想とお礼の言葉をいただきました。



▲分流施設管理棟で仙台二華高一年生（66名）の皆さんが受講



▲脇谷閘門・洗堰を見学



▲航空写真で北上川流域の地形等を熱心に学習する学生



▲見学会を終え、受講の感想と感謝の気持ちを伝える学生

講義の内容

- 「守りきれない洪水は必ず発生する！」動画上映
- 講義内容
 1. 北上川流域の概要
 2. 北上川の歴史
 3. 北上川下流部改修の歴史
 - ・三川合流部
 - ・旧北上川分流施設
 4. 東日本大震災の被害概要と復旧復興事業概要
 - （旧北上川かわまちづくり）



川村孫兵衛と北上川の関わり

○川村孫兵衛：伊達政宗の家臣
（かわむらまことへん）
・長河（今の山口県）出身
・道徳家、数学者、水利学、天文学、土木技術、製紙、製糖など種々な分野に精通していた。

北上川、江合川、迫川を合流させる。北上川を石巻に通ず。

目的
石巻港までの舟運確保

石巻は米の集積地になり米蔵が建ち並んで、江戸産米の基地として賑わった。港町石巻の繁栄の基礎を造った。

洗堰の仕組み①

<洗堰（あらいぜき）の役割>

- 普段は旧北上川に必要な分の水ながします。
- 洪水の時には旧北上川に流れる水を減らします。

洗堰の構造

Q：なぜ「洗堰（あらいぜき）」というの？
A：水を堰の上から経渡（堰の上を水が流れる）させるタイプの堰を特に「洗堰（あらいぜき）」と呼ぶ。経渡する様子が「堰を洗うようだ」ということから、こう呼ばれるようになった。